

2026年3月期 第3四半期

9 M FY2025

決算概要



Enhancing planetary health

2026年2月10日

日揮ホールディングス株式会社

本資料の複製・転載・改変・再配布を禁止します。

執行役員ファイナンスユニット部長の田口です。
2026年3月期第3四半期の決算概要のご説明をいたします。

目次

- 2026年3月期 第3四半期 実績
- 2026年3月期 予想
- 参考資料



最初に2026年3月期第3四半期の実績、次に2026年3月期の通期業績予想についてご説明いたします。

2026年3月期第3四半期 実績



Enhancing planetary health

最初に2026年3月期第3四半期の実績です。

ハイライト

- 国内外大型プロジェクトの着実な遂行を継続
- 複数の海外大型プロジェクトが完工するなど順調に進捗
- 機能材製造事業では市場環境が期初想定から若干改善
- これまでの業績動向を踏まえ、通期業績予想を修正

2026年度3月期第3四半期のハイライトを4点まとめております。

国内外大型プロジェクトでは、上期から引き続き着実な遂行を継続しています。昨年損失を出した海外子会社のプロジェクトの一部ではマネジメント強化や人員補強による立て直しを進めているものもありますが、それ以外ではカナダやタイで大型プロジェクトが完工するなど、総合エンジニアリング事業全体としては採算改善の取組は順調に進んでいます。機能材製造事業では、ファインセラミックス分野などで市場環境が若干改善しており、順調に推移しています。これらを含む業績の動向を踏まえ、通期業績予想を修正しております。

連結損益計算書

【億円】

	9M FY2024 実績	9M FY2025 実績	前年同期比	FY2025 業績予想 (修正後)	進捗率
売上高	6,041	5,668	△ 373	7,400	77%
売上総利益	31	476	+445	610	78%
利益率	0.5%	8.4%	+7.9pt	8.2%	
営業利益・営業損失(△)	△ 192	267	+459	310	86%
経常利益	1	426	+425	440	97%
親会社株主に帰属する 四半期純利益・純損失(△)	△ 39	299	+338	300	100%
1株当たり 四半期純利益・純損失(△)	△16.43円	123.70円			

第3四半期累計期間の損益計算書です。

売上高は前年同期比373億円減の5,668億円、

売上総利益は476億円、

粗利益率は8.4%でした。

円安影響などにより通期予想を上回りました。

営業利益は267億円、

経常利益は426億円、

親会社株主に帰属する四半期純利益は299億円でした。

セグメント情報

【億円】

	9M FY2024 実績	9M FY2025 実績	前年同期比		FY2025業績予想 (修正後)	進捗率
	売上高	5,613	△ 406	△ 7%	6,750	77%
総合エンジニアリング	セグメント利益・損失	△ 198	+460	-	295	89%
	利益率	△ 3.5%	+8.5pt		4.4%	
	売上高	397	+29	+7%	570	75%
機能材製造	セグメント利益	58	△ 0	△ 1%	75	77%
	利益率	14.7%	△ 1.1pt		13.2%	
	売上高	29	+3	+13%	80	42%
その他	セグメント利益	7	+0	-	20	40%
	利益率	26.6%	△ 3.0pt		25.0%	
調整額	セグメント利益	△ 59	△ 0	-	△ 80	-

セグメント別の業績です。

総合エンジニアリング事業は、新規案件の受注が後ろ倒しとなっていること等により、売上高は前年同期比406億円減収の5,207億円、セグメント利益は261億円でした。前年同期は複数プロジェクトで追加費用計上があり損失となっていました。

機能材製造事業は、売上高が前年同期比29億円増収の427億円、セグメント利益は横ばいの57億円でした。

前年同期比でセグメント利益率が低下している要因は、新設設備の償却費負担などによるもので、期初の想定に沿ったものです。

セグメント情報

マーケット環境

・総合エンジニアリング事業

- ・ 天然ガス（LNG含む）関連を中心に顧客の設備投資計画は多数進行中。今期EPC受注期待案件では、顧客内各種手続きが長期化傾向。
- ・ サステナブル分野の顧客投資計画は後倒し。オフテーカー確保や事業経済性などが課題。

・機能材製造事業

- ・ 海外での燃料需要と国内での交換需要を背景に石油精製触媒は堅調。
- ・ ファインケミカル分野は、生成AI普及に伴うハードディスク市場回復によりシリカゾル（研磨砥粒素材）の販売が好調。
- ・ ファインセラミックス分野では、半導体製造装置部品やデータセンター向け薄膜回路基板の需要が急速に回復。中国市場向けEV用高熱伝導窒化ケイ素基板の需要も堅調。

セグメント別のマーケット環境です。

総合エンジニアリング事業では、LNG分野などで顧客の設備投資計画が多数進行中です。

ただし、EPC契約に至る最終投資決定までの期間は長期化しています。

サステナブル分野でも特に大型のものは停滞している状況です。

機能材製造事業では、石油精製触媒が海外で引き続き堅調に推移しています。

ファインセラミックス分野では半導体製造装置やデータセンター関連の部品・材料の需要が急回復しています。

セグメント情報

受注の状況（総合エンジニアリング事業）

i) 受注高

【億円】

	9M FY2024	9M FY2025
海外	3,599	2,111
国内	565	896
合計	4,165	3,008

9M FY2025
主要受注案件

LNG FEED（カナダ）
FLNG 先行役務（モザンビーク）
ロケット試験・燃料設備（日本）
医薬品製造工場改修（日本）
原油・ガス分離設備増設工事（サウジアラビア）
化学プラント改修工事（日本）

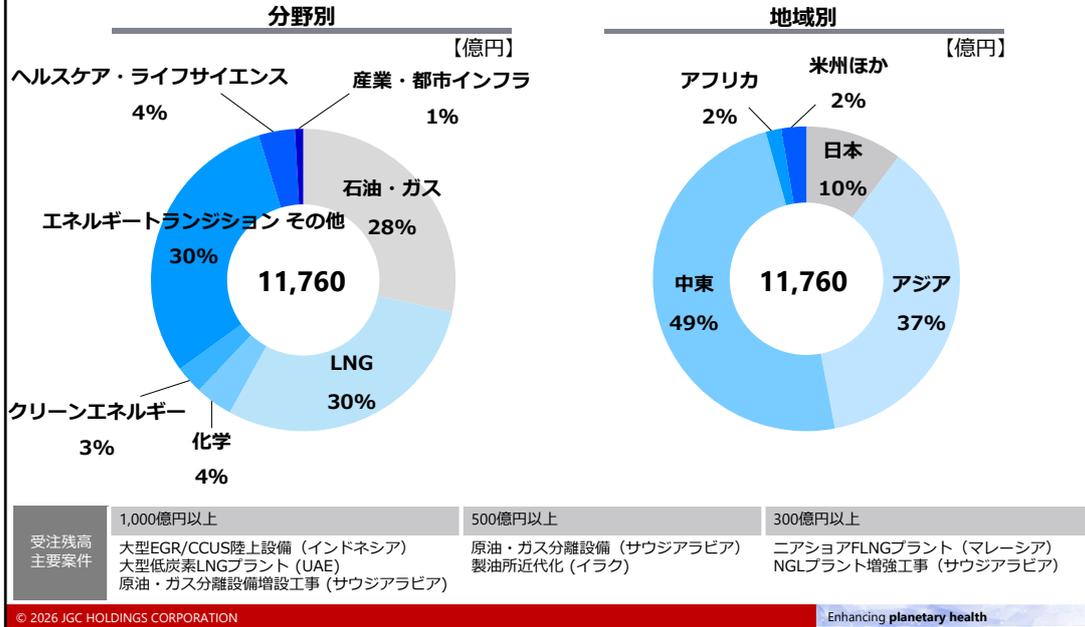
総合エンジニアリング事業の受注の状況です。

第3四半期は、海外でサウジアラビアの原油・ガス分離設備の増設工事、国内で化学プラントの改修工事などを受注しました。

9か月累計の受注高は、海外2,111億円、国内896億円、合計3,008億円です。

セグメント情報

ii) 受注残高 (2025年12月末)



受注残高です。

12月末の受注残高は1兆1,760億円です。

期初から2,300億円ほど減少しています。

分野別の構成比では、期初と比べて石油・ガス分野が上昇し化学分野が下がりました。

地域別ではLNGカナダの完工により米州他が下がり、中東・アフリカが上昇しています。

連結財政状態

	2025年3月末	2025年12月末	増減
流動資産	5,612	5,865	+252
固定資産	2,229	2,444	+215
総資産	7,841	8,309	+468
流動負債	3,469	3,492	+22
固定負債	449	512	+62
純資産	3,922	4,305	+382
自己資本比率	49.8%	51.6%	+1.8pt
JVキャッシュ 当社持分	935	1,160	+225

連結財政状態です。

流動資産は前受金の入金による現預金の増加などで期初から252億円増加の5,865億円、

固定資産は有価証券の評価差額などで215億円増加の2,444億円、
総資産は8,309億円となりました。

純資産も有価証券評価差額金の増加などにより382億円増の4,305億円となりました。

自己資本比率は51.6%となりました。

2026年3月期 予想



Enhancing planetary health

次に、2026年3月期の通期業績予想についてご説明いたします。

2026年3月期の業績見通し

【億円】

	FY2024 実績	FY2025 予想 修正前	FY2025 予想 修正後	FY2025 予想増減	
受注高(※)	9,225	6,500	6,500	-	-
売上高	8,580	7,700	7,400	△ 300	△ 4%
売上総利益	189	590	610	+20	+3%
利益率	2.2%	7.7%	8.2%	+0.5pt	
営業利益・損失(△)	△ 114	280	310	+30	+11%
経常利益	113	380	440	+60	+16%
親会社株主に帰属する当期純利益・純損失(△)	△ 3	280	300	+20	+7%
1株当たり配当金	40.00円	40.00円	40.00円	-	
換算レート(米ドル)	149.52円	145.00円	150.00円	+5円	

(※) 総合エンジニアリング事業

通期の業績見通しを修正しております。

為替が想定に比べ円安水準で推移していることから想定レートを1米ドル150円としました。

売上高は、大型プロジェクトの財務上の進捗率を見直すなどした結果300億円減少し7,400億円、

売上総利益は、円安の影響と採算改善により減収の影響を吸収し、20億円増の610億円、

営業利益は、販管費の減少も加味して30億円増の310億円、

経常利益は、営業利益の増に営業外為替差損益の見直しを加え60億円増の440億円、

親会社株主に帰属する当期純利益は、最新の税額予想を考慮し、20億円増の300億円です。

配当金予想は1株当たり40円に変更ありません。

2026年3月期 セグメント別 業績見通し

【億円】

		FY2024 実績	FY2025 予想 修正前	FY2025 予想 修正後	FY2025 予想増減	
総合エンジニアリング	売上高	7,949	7,080	6,750	△ 330	△ 5%
	セグメント利益・損失(△)	△ 145	270	295	+25	+9%
	利益率	△ 1.8%	3.8%	4.4%	+0.6pt	-
機能材製造	売上高	546	540	570	+30	+6%
	セグメント利益	81	70	75	+5	+7%
	利益率	15.0%	13.0%	13.2%	+0.2pt	-
その他	売上高	84	80	80	-	-
	セグメント利益	24	20	20	-	-
	利益率	28.4%	25.0%	25.0%	-	-
調整額	セグメント利益	△ 74	△ 80	△ 80	-	-

セグメント別の業績見通しです。

総合エンジニアリング事業では、大型プロジェクトの財務上の進捗率を見直したことなどで、売上高が330億円減少する見通しとなりました。

一方、セグメント利益は、円安影響とプロジェクト終盤での採算改善による利益増が減収による利益減を上回ったことに加え、販管費の減少も見込んで25億円増加としました。

機能材製造事業は、一部商品での需要回復に伴う売上・利益の増加を反映する内容としております。

以上で決算概要の説明を終わります。

将来の見通しに関するご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行っていただきますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
日揮ホールディングス株式会社
戦略企画オフィス 経営企画ユニット
コーポレートコミュニケーショングループ
Tel : 045-682-8026 Fax : 045-682-1112
E-mail: ir@jgc.com